

2017年度ワングル那須岳ハイキング ～紅葉の山歩き～

記録 行田 眞勝

期日 2017年10月11日(水)日帰り

天候 曇り

参加者 23名

宮田宏美、山下和正、木村 稜、木村いよ子、佐久間 勤、佐久間弘子、小磯義昭、藤野 昇、高橋龍己、高橋幸代、早川充、宍倉弘、野極政雄、虻川敏雄、QUY、岡村美喜男、岡村加代子、間中きぬい、大知洋子、倉持良子、鈴木咲子、守屋 哲、行田眞勝

交通手段 長妻観光バス

* 宮田さん、守屋さんは現地にて合流

行程

坂東 ^ハ ニル	～	境古河IC	～	上河内SA	～	那須IC	～	那須口-プウエイ山麓駅	～
6:05頃				7:45	8:00	8:30		9:05	9:25
那須岳登山口	～	中の茶屋跡	～	峰の茶屋跡	～	牛ヶ首	～	牛ヶ首分岐	～
9:45		10:13		10:51	11:04	11:38	11:44	12:14	12:56
茶臼岳山頂	～	口-プウエイ山頂駅	～	口-プウエイ山麓駅	～	源泉那須山	～	那須IC	～
13:48	13:57	14:30	14:40	14:45	15:00頃	15:30頃	17:30		
羽生PA	～	境古河IC	～	坂東 ^ハ ニル					
18:51	19:02	19:31	19:54						

山行記録

今回は、秋の紅葉狩り山行として企画され23名が参加。5:50坂東ヨ-クタウンに集合、長妻観光のバスが若干到着遅れたものの、6:05頃ほぼ予定通りに出発した。途中、長須で間中さん、倉持さん、鈴木さんをピックアップし、圏央道境古河ICより高速道路に入り、久喜JCT経由で東北道に入る。宮田さん、守屋さんは現地にて合流することになっている。高速道路は順調に走り、途中7:45河内SAに立ち寄り。ここで朝食・昼食・行動食等を買込み8:00に出発、那須ICを8:30に出る。那須口-プウエイまでの道のりはそれ程の混雑はなく9:05到着した。平日だが、紅葉の真っ盛り、数日前にテレビでも紹介していたため駐車場は混雑していた。宮田さんとは山麓駅の手前で合流した。バスは我々を降ろした後に別の駐車場に移動して待機することとなった。

各自出発の準備をして9:25出発した。朝方の守屋さんからの情報によると、その時は青空であり、展望も良かったらしいが、青空は期待できない状況になってきた。整備された階段を登り、暫くは舗装された舗道を行くと、9:45鳥居がある「那須岳登山口」に着く。ここから登山道となる。ペ-ス配分が上手な山下さんを先頭に22名で登っていくが、途中福島からきたという小学生の団体が登っていく。元気一杯の小学生は賑やかで、多人数で「こんにちは」の挨拶を繰り返されると、そのうち面倒になってくる。ガスっている登山道をペ-ス良く登っていくと、右手に色彩豊かな朝日岳の斜面が、ガスの切れ間に現れたり消えたりしている。青空も見え隠れしており、紅葉は青空でいっそう色彩がきれいになる。小休止して皆さん思い思いに写真を撮っている。カメラ好きの人が多いので皆の写真を集めて写真展でもできそうだ。右手の紅葉を見ながら気分よく登山道を登っていくと、10:51峰の茶屋跡に着く。山麓駅から約1時間半位だ。この辺りは強風で有名な場所だが、今日はさほど感じない。気温も17 あり、比較的暖かく、小磯さんのシャツの背中が汗でザック模様になっている。

10分位小休止した11:04茶臼岳方面に向かって歩き出す。茶臼岳を巻くように整備された道を歩いていくと、左手の斜面に無間地獄といわれ蒸気の上がっている場所を通過する。つい最近九州の新燃岳で火山活動が活発になり、高度2000mまで噴煙が上がったというニュースも流れている。那須岳は昭和38年に水蒸気噴火が起きて以来、噴火は起きていないようだ。巻き道を右手に見ると、ひょうたん池のある姥ヶ平が見える。ここは紅葉の名所といわれる位の色彩豊かな紅葉である。ガスっていても色鮮やかで見応えがあり、ハイカ-が休憩している姿が遠目に見える。紅葉で目の保養をしながら歩き11:38牛ヶ首に着き小休止とする。記念撮影会が始まるが、皆さんの笑顔がとても良く、和気あいあいとしたワングル山行の楽しさが分かる。これも幹事さんのおかげです。

牛ヶ首から鉢巻き道を30分位歩いた12:14茶臼岳山頂と那須口-プウエイ山頂駅への分岐に出る。ここで大休止とし、昼食タイム。キュウリやセロリの漬物、揚げモチ、栗、梅干し等、皆様から差し入れていただく。山で塩分のあるもの、甘いものをいただく美味しくさ倍増です。

休憩しながら茶臼岳山頂にいるという守屋さんを待つことになったが、なかなか姿を見せることがなかった。再度連絡の結果、どうやら我々が登ってきた峰の茶屋跡方面に下ったことが判明した。大休止後、ガスって山頂からの眺望は期待できそうもないが、やはり我々はワングル、茶臼岳山頂に全員が登っていく。さすがです。茶臼岳山頂への登りは大小の岩石が多く砂礫の滑りやすい道で、特に下りは勢い余って転ばないように注意は必要、ガスっているが他のハイカ-も何組かいる。分岐を12:56に出発して山頂には13:48に到着したが、残念ながら視界が悪く記念撮影をして10分程休憩した後下山する。下りは時間の関係上、那須口-プウエイで



下ることにしたため、チケット購入のため山下さんが一足先の下る。後続隊は穴倉さんが先頭を歩き下山する。途中、峰の茶屋跡方面の分岐で間違えそうになったものの、他のハイカ - 共々間違いに気づき、ロ - プウェイ方面の道に合流する。砂礫の滑りやすい道なので、脚が疲れて踏ん張りがきかなくなってくるので転ばないように注意して下りロ - プウェイ山頂駅に14:30到着した。山頂駅では小学生の団体が改札口で待っていたが、我々一般客が先に乗る。14:40発に乗り5分程で山麓駅に到着したが、途中の斜面は紅葉がきれいだった。山麓駅でやっと守屋さんと合流することができた。山麓駅から15:00待合せのバスに乗り、脚の疲れと腹ごしらえのため「源泉那須山」に立ち寄り。15:30頃着き、のんびりと温泉に浸かり、各自思い思いにメニュー - を選び腹ごしらえをした。その後、隣接する「お菓子の城」に寄り各自土産を買う。17:30小雨が降り出すなか出発、那須ICから高速道路に入り、途中羽生PAに寄り、坂東のヨ - クタウンには、予定より1時間程早い19:54に着いた。

今回、展望は今一つであったが、紅葉と温泉を満喫できた。幹事さん、参加者の皆様お疲れ様でした。次回も楽しみにしています。

